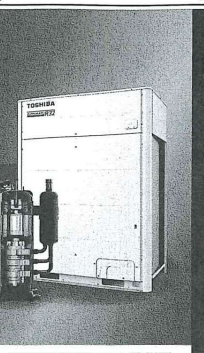
TOSHIBA

カーボンニュートラルの実現に貢献
DCトリプルロータリーコンプレッサー搭載で
BEI水準に対応した環境特化モデルが誕生

『任意評定書取得モデル』

R32冷媒ビル用マルチエアコン

SUPER MULTI u R32
R32 Refrigerant



Carrier 日本キャリア株式会社

製品に関するお問合は二次元コードより▶
商品マーケティング部

7月17日は「空調発明の日」

世界初の空調原理を発明「空調の父」と呼ばれキャリア社創業者のウィリス・キャリア博士が近代空調の原点でもある印刷工場向け空調装置の設計図にサインを記した日が1902年7月17日から記念日として制定されました

キャリア社創業者
Willis Carrier

この間のアレ、を運ぶ会社

空調、冷凍、断熱のプロとしてご要望に応じ、最適な商品をご提案。
皆様のご期待に応えます。

MURASHO
村商株式会社

東京本店　〒334-0074　埼玉県川口市江戸1-6-10　TEL 048(283)0111　FAX 048(288)9300
横浜支店　〒221-0862　神奈川県横浜市神奈川区三枚町355-1　TEL 045(372)2581　FAX 045(374)2166
関東営業所　〒306-0112　茨城県古河市東山田8　TEL 0280(23)6011　FAX 0280(23)6017
水戸営業所　〒312-0036　茨城県ひたちなか市津田東1-7-11　TEL 0292(72)5431
いわき営業所　〒972-8318　福島県いわき市常磐関船町宮下18　TEL 0246(72)1304
●村商グループ ― 村商東北株式会社

ガス石油省エネ給湯機普及促進会議 発足

業界の枠組み超え24団体が結束

ガス石油省エネ給湯機の認知拡大・普及促進へ

家庭部門におけるガス石油省エネ給湯機の普及を推進する給湯機メーカー、エネルギー事業者、並びに関連する流通、住宅、消費者の各団体は、2050年カーボンニュートラル（CN）の実現、35年度・40年度のGHG削減目標への貢献を目的に5月19日、「ガス石油省エネ給湯機普及促進会議」（通称＝スマいる給湯プロジェクト）を設立し、同日に第1回全体会議を開催した。一連の取り組みにより、35年度に当該機器を設置するスペース等の制約がない金額付に普及させる「スタンダードル（市場の75%）を想定」の実現を目指す。

2050年CN実現に向け、政府は35年度に60%削減、40年度73%削減（同れも33年度比）というGHG削減目標を掲げている。家庭部門では給湯分野がエネルギー消費の約3割を占めておりこの水工事方法が十分周知されていないこと、賃貸住宅におけるオーナーや管理会社の導入動機の不足、ガス石油省エネ給湯機の省エネ化が強く推進される国策としても給湯機の省エネ化を迎えている。

請課題解決のため参画団体が広く横断的に情報共有し、連携・協働する場として本会議を設立。設立発表会では、住宅の省エネ・CO2削減で国の政策作りや業界の指導に第一線で活躍する芝浦工大建築学部長・秋元孝之座長が「今後は、給湯機メーカー、エネルギー事業者、流通事業者、住宅事業者、消費者団体など多様なステークホルダーがこれまで以上に連携し、新築のみならず既築住宅や集合住宅も含めて、高効率なガス石油省エネ給機器の普及促進を進めていくことが重要」と述べ、ガス石油省エネ給湯機普及に向けた意気込みを表明。また、発表会と同日に第1回全体会議を開催し、設立目的や今後の活動方針を確認した。

設立発表会での記念写真

「空調発明の日」を正式登録認定

日本キャリア

空調の歴史と価値を広く発信

7月17日は「空調発明の日」――。空調の原理を発明したCarrier社・東京都州区）が7月17日を「空調発明の日」として一般社団法人日本記念日協会から登録認定された。空調技術の原点や社会的価値を広く発信していく。

左から丸山峰生副社長（当時・現社長）、久保社長（当時・現会長）、田宮智康事務局長、Michael Gierges氏（1月16日の登録証授与式）

キャリア創業者ウィリス・キャリア博士の功績を称えるもので、日本キャリア（社長＝丸山峰生氏、本人）。近年、気候変動の進行や猛暑の常態化を背景に、空調設備は快適性の確保だけでなく、人々の健康や安全、産業活動を支える社会インフラとして重要性を高めている。こうした中、同社では空調技術の歴史や意義を改めて見つめ直し、その価値を社会へ伝える取り組みとして記念日の制定を進めてきた。

ウィリス・キャリア博士は1902年、米国ニューヨークの印刷工場における品質改善を目的として空気冷却システムを設計。温度だけでなく温度も制御する考え方を取り入れたこの技術が、現代空調技術の原点とされる。同年7月17日は、博士がその機械図面に自らのイニシャルを書き添えた日であり、Carrierグループでは空調技術の歴史を偲ぶ日としている。

日本キャリアでは、この歴史的な節目を日本国内でも広く知ってもらうため、日本記念日協会へ申請し、このほど正式に認定を受けた。記念日の登録を受けて1月16日には同社本社で登録証授与式を開催。日本記念日協会の田宮智康事務局長が招いたほか、Carrier社アジア・オセアニア・中東・アフリカ代表社長のMichael Gierges氏も参列し、オンラインを含め多数の従業員が参加した。

久保徹社長（当時・現会長）は「空調発明の日」の制定は、Carrierの原点である創業者の偉業を日本で伝えて行くための第一歩。今後広く発信していくとともに、空調が人々の暮らしと社会を支えてきた歴史と価値の重みを受け止めて、その継承者として引き続き貢献していく」とコメントした。

同社はCarrier Global Corporationの日本法人。近年、気候変動の進行や猛暑の常態化を背景に、空調設備は快適性の

森ビルの虎ノ門ヒルズと麻布台ヒルズが空衛大会から表彰

森ビルは、空衛大会から虎ノ門ヒルズの「ステーションタワー」が第64回「学会賞技術賞」を、同「森タワー」が第26回「特別賞」を、麻布台ヒルズ「レジデンスA」「ガーデンプラザC」が第3回「コミッショニング賞」を受賞した。

虎ノ門ヒルズ「ステーションタワー」は大規模超高層複合施設にて、新たな省エネ法やウェルネス及び強靭化の確立に向けたシステムを都市スケールで具現化したこと、汎用技術の応用とAI・計測技術を統合し脱炭素社会実現と都市強靭化を牽引する次代の模範的な環境設備計画及びエネルギーマネジメントのモデルケースとなり得ること等が評価された。

虎ノ門ヒルズ「森タワー」は高品質な性能検証と運用改善を継続し省エネを実現していること、多段階温度帯活用や蓄熱槽のクッション利用等に関する運用実績や性能検証結果を、学会大会等で積極的に配信し、社会や業界に還元していること等が評価された。

麻布台ヒルズ「レジデンスA」「ガーデンプラザC」は、長期にわたり性能検証を続けて、要求性能に基づいた適正な判断を行い、社会的変化やニーズに対応し、関係者全員に便益をもたらした好例であること、住宅・ホテル・商業施設といった幅広い用途への性能検証適用は、省エネだけでなく、BCP・LCP（生活継続計画）へと拡大し、今後の性能検証と寄与したこと等が評価された。

MORE SAFETY・MORE ECOLOGY

フロンガスは最も温暖化係数の高いガスです

地球の安全は私たちが守ります。

01 フロン破壊処理
大気中へのフロン排出を抑制するため、破壊処理（無害化）を行っています
クリエイトでは経済産業省・環境省の許可のもと、過熱高温反応法式でフロンを安全に処理しております。又、処理装置が壊れることによりメンテナンス停止期間を分散できる為、オールシーズン安定した処理が可能です。
回収容器は各現場から1週間でのご返却を心掛けて処理を行っております。さらにフロン蒸留設備を完備している為、R11等の低圧フロンも破壊処理が可能です。

02（高圧フロン） フロン再生処理
フロンの再生処理を行っています（RRC規格）
フロン処理は破壊処理だけでなく、限られた資源を有効利用するために再生利用することも可能です。冷凍空調機器整備時等に一時回収した冷媒は再充填前に一度、蒸留精製を行うことにより新品同等まで品質を向上させることができますので、安心してお使い頂けます。

02（低圧フロン） フロン再生処理
フロンの再生処理を行っています
フロン処理は破壊処理だけでなく、限られた資源を有効利用するために再生利用することも可能です。冷凍空調機器整備時等に一時回収した冷媒は再充填前に一度、蒸留精製を行うことにより新品同等まで品質を向上させることができますので、安心してお使い頂けます。

03 再生フロン販売
再生フロンの販売を行っています
クリエイトではRRCにより認定された蒸留精製設備によりフロンを再生しております。特に純度では99.98%以上の高純度を保ち、新品同等の品質となっております。
R22 R410A R404A

クリエイトの高品質 再生フロン

04 レンタルボンベ
フロン回収ボンベのレンタルを行っています
クリエイトでは約客様の多様なニーズにお応えできるように、各種容器を多数ご用意しております。機器撤去時にお手持ちのボンベが足りない時や、再生処理を前提とした回収、機器整備時の一時的収率にぜひご利用ください。ボンベ以外にもドラム缶（低圧フロン用）もご用意しております。

05 分析
フロンの各種分析を行っています
クリエイトではフロンガスの純度・水分・酸分・蒸発残分・非凝縮ガス5項目の分析が可能です。冷凍空調機器トラブル時の冷媒成分分析などに、ぜひご利用ください。

06 冷凍機油処理
冷凍機油に溶け込んだフロンを回収し、適正な処理を行っています
フロン混入の冷凍機油は、そのまま焼却処理にかけると機器内にのこったフロンによりオゾン層破壊・地球温暖化・ダイオキシンの発生等、地球規模の問題を引き起こします。
そこで当社は冷凍機油に含まれたフロンはもちろんフロン破壊・再生後のボンベ内の油からもフロンを回収するため、高温槽に更に「フロン冷凍機油分離回収装置」を使用し冷凍機油内に含まれているフロンを0.000018%（18PPM）以下まで抜き取ることが可能です。

07 産業廃棄物収集・運搬
収集・運搬を行っています（関東全域）
クリエイトでは冷凍機油（廃油）を主として安全第一で収集運搬を行っております。特に冷凍機油は地下や屋上に多く機械室が保管場所となっており、搬出経路が階段等あることが非常に多い為、当社では熟練作業員が職殘等が無いよう事故防止に努め安全に収集・運搬を行っております。

08 NEW! フロン回収工事（代行）

お客様からのお求めに応じて、弊社にてフロン回収工事を代行する新サービスを始めました。

代行サービスご利用のお客様メリット
❶貴重な人員を設置工事に集中できる
❷ボンベや配送便の確保の手間がゼロに
❸再生・破壊処理までワンストップで任せられるので手間がなく安心
❹高圧冷媒の回収も可能
❺300kgまでは1日で回収できます

"夢"を形にする環境創造企業
株式会社クリエイト
〒349-1123　埼玉県久喜市間鎌314番地1　TEL0480-52-7831　FAX0480-52-7895　URL:https://www.crt-fron.co.jp/
仙台営業所　〒984-0033　宮城県仙台市若林区荒浜字中堀南63　TEL022-349-9403
岩手営業所　〒020-0839　岩手県盛岡市津志田南3-7-26　TEL019-656-6213
新潟営業所　〒940-2126　新潟県長岡市西津町2194-1　TEL0258-89-8563

破壊処理：各種冷媒に対応
再生冷媒：CFC-11/CFC-12/HCFC-22 HCFC-123/HFC-134a/etc...
フッ素系溶剤：YK225/YK141b/etc...　その他：HC250/etc...
廃油処理：各種冷凍機油に対応

埼玉県 第1種フロン類引取等業者認定（埼玉県知事（認－28）第14610002号）
RRC（冷媒回収・推進センター）認定 第一号 再生施設